

第2088回例会

2月1日(木)晴れ/12:30~13:30 [松魚亭]

1. 講話
小唄 篠の会 代表
篠 登喜 氏
「小唄の粋と 技芸夫との出会い」
2. 出欠
出席 31名 欠席 18名
出席率 65.96% ビジター 20名



3. 来訪者(敬称略)
東京小石川RC 松田義幸 上田 統 伝 敏三 伝 邦子
梶原徳二 梶原千代子 原 英達 小松崎敬子
本村 哲 仁平範昭 野生司義光 三宮慶邦
関根久男 須江節雄 高橋義一 谷一文子
上松勲祐 山崎光信 高月清司

4. 幹事報告
・東京小石川RC様よりご挨拶

5. お誕生日祝い(敬称略)

10日 中川 茂樹

29日 山上 公介

6. ご結婚記念日祝い(敬称略)

7日 中川 茂樹

25日 横井 清治

26日 中村 芳明

7. ニコニコボックス

東京小石川RC会長、松田義幸君ほか

一同ニコボックスへ

佐賀君、中浦君
東京小石川RC様のご訪問を歓迎いたします。小唄、篠の会代

表、篠(しの)登喜(とき)氏の講話を楽しみにしています。

宍網君 篠登喜先生を講師にお迎えして。お話を楽しみにしています。

松本君 東京小石川RCの皆様、多数の例会ご出席、有難うございます。

大村君 遅れましたが、新年おめでとうございます。今年、米寿を迎え

ました。今しばらくお世話になりますが、宜しくお願い致します。

山上君 閏年生まれ。中二の春、やんちゃ盛り。

木村(康)君 先日は、誕生祝を頂き、有難うございました。

55歳!GO, GO!で頑張ります。

松田君 「シェキラリ」の自立援助ホーム、本日オープンしました。

ご支援有難うございます。

魚住君 年忘れ会における「魚住為楽展」より、10万円をニコボックスへ

合計 133,000円 (累計 443,000円)



東京小石川 RC 松田会長

第2089回例会

2月15日(木)晴れ/12:30~13:30 [松魚亭]

1. 講話
石川ミリオンスタース監督
武田 勝 氏
「NPBと独立リーグ」
2. 出欠
出席 30名 欠席 19名
出席率 68.19% ビジター 1名



3. 来訪者(敬称略)
金沢百万石RC 谷 伊津子

4. 幹事報告
・例会終了後、2月定例理事会開催。

5. ニコニコボックス

佐賀君、中浦君
石川ミリオンスタース監督、武田勝氏のお話を楽しみにしております。

宍網君 講師に、武田勝監督をお迎えして。お話を楽しみにしています。

合計 4,000円 (累計 447,000円)

第2090回例会

2月22日(木)晴れ/12:30~13:30 [松魚亭]

1. 講話
北陸財務局 理財部主計課長
長谷川 正浩 氏
「日本の財政における社会保障制度の現状」



2. 出欠
出席 30名 欠席 19名
出席率 68.18% ビジター 2名

3. 来訪者(敬称略)
金沢東RC 市川元久
香林坊RC 宝達達也

4. 幹事報告
・台湾東部地震義援金の募金箱を回します
・例会終了後、次年度理事会開催

5. ニコニコボックス

佐賀君、中浦君
北陸財務局、理財部主計課長の長谷川正浩氏のお話を楽し

みにしています。

宍網君 講師に、長谷川氏をお迎えして。お話を楽しみにしております。

合計 4,000円 (累計 451,000円)

■金沢市内 RC 3・4月 例会変更

金 沢 RC
3月 7日(水) 18:00~ 金沢ニューグランドホテル「夜間例会」
4月 4日(水) 18:00~ DESTINO「観桜会」

金沢東 RC
通常例会で、変更&休会ありません。

金沢西 RC
3月 23日(金) 休 会
4月 13日(金) 休 会
4月 20日(金) 18:00~ 和田屋「観桜例会」

金沢南 RC
3月 20日(火) 休 会
4月 3日(火) 京都東山RC創立記念例会訪問へ振替

金沢北 RC
3月 22日(木) 休 会
4月 12日(木) 18:30~ 松魚亭「お花見夜間例会」
4月 26日(木) 休 会

香林坊 RC
3月 19日(月) 休 会
4月 2日(月) 休 会
4月 9日(月) 18:30~ 金城楼「観桜会」

みなと RC
3月 27日(火) 休 会
4月 10日(火) ゆわく温泉かなや「観桜夜間例会」

百万石 RC
3月 29日(木) 休 会
4月 26日(木) 創立20周年記念例会(4/21) 振替休会

■ 講話予定

- 3月 8日(木) 会員 木村康徳君
「経営者としてのこれまでと、
プラス中小企業診断士としてのこれから」
- 3月 15日(木) 水引作家 廣瀬由利子氏 「ふだんづかいの水引」
- 3月 29日(木) NPO法人シェキラリ 理事 佐竹悟氏

- 会長/佐賀 務 ● 会長エレクト/内堀 茂 ● 副会長/中村 芳明
- 幹事/中浦 洋昭 ● 副幹事/向峠 仁志 ● 会場監督/松田 光代 ● 会計/中川 茂樹
- クラブ会報委員長/大場 修

- 会員数/49名 ● クラブ設立/昭和48年10月3日
- ◎ 例会日/木曜日 12:30~13:30
- ◎ 例会場/松魚亭 金沢市東山1-38-30 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273



ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ



発行 2018.3.1thu

No. 942

事務局/金沢市上堤町1番15号 金沢上堤町ビル3階
TEL:076-222-2525 FAX:076-224-2882
E-mail:k-itarc@angel.ocn.ne.jp
HPアドレス:http://www.kanazawa-north.jp



「兼六園・梅林」

三月の論語

子曰く、
ひろく 博く文を学び、
之を約するに礼を以てせば、
また 亦以て畔かざる可きか。

死の淵を覗いてきました

幹事 中浦 洋昭

七月に入ってから畑仕事をすると、直ぐに動悸が激しくなり、まるで熱中症になったみたい息苦しく、木陰で横たわるような状態になったり、ゴルフに行くと胸に何か詰まったりしている感覚があり、なんか変な心持ちで日々を過ごしていました。

7月20日の夜中の1時ころ、急に胸をジャイアント馬場に驚つかみされているような、息苦しい状態（発作）に5分ほどなりました。その晩は一回で収まりましたが、三日後に、また同じような発作が起こりました。これは自分の体に変調が起きていると自覚し、翌日病院に行き、医療センターの呼吸器内科を予約してもらい、ニトロを処方してもらい帰宅しましたが、その晩も大きな発作があり、ニトロを飲み対処しました。

7月26日に、医療センターで検査をしてもらいました。結果は付加心電図に少し異常が見られますので、検査入院してくださいとのことで、夏の家族例会が終わった翌週の8月7日から10日まで入院し、カテーテル検査を行いました。結果は、4か所の血管が細くなっていて、さらにその悪い個所が血管の根元にあり、内科的な対処では無理があり、外科のバイパス手術を行うのが良いとの診断でした。娘の意見で、バイパス手術をするなら金大病院で行うほうが良いのではと、金大病院の心臓血管外科を医療センターから紹介していただき、大学病院を8月24日に受診し、9月6日入院、9月12日手術と日程が決定しました。

正式名称は、心臓冠動脈バイパス手術ですが、その手術内容は、両腕の血管2本と胸の血管2本。合計4本を胸の骨を切断して心臓に移植し、詰まりそうな血管の動きを助け、健康な人と同じ血液の量を確保するという内容です。

手術前に、外科の先生からたくさんのリスクについての説明を受けるにつけ、段々恐怖が増幅して、病院から逃げ出したくなる心境でした。手術当日は、午前8時にオペ室に入りましたが、入室するときデパートの開店時みたいに何人かの患者さんが一斉に入り、それぞれのオペ室に向かいました。全身麻酔がかけられ「あっ」という間に終わりましたが、実際は午後の5時の終了でした。先生から「中浦さん終わりましたよ、成功しました」と声を掛けられたときは、正直大変うれしかったです。思わず声が出せないで、右手の親指を立てて「いいね」をしたら、少しウケました。集中治療室に入り、家族と顔を合わせた時は、涙が出るほど安心しました。

集中治療室は、3泊しました、大変混み合っているみたいで、すぐにも出て行ってほしい空気が周りに漂っていて、リハビリ担当の先生はあまり寝ないで、すぐに立ち上がるように指導され、3日目にはベッドから立ち上がりました。身体からいろんな管が外されていく感覚は、とっても快感に近いものがあり、最後に尿の管が外され、自分の力で用を足したときは感動しました。

個室に移動してからは、日を追うごとに少しずつ体に力が戻ってきましたが、ずっと痛み止めの薬を服用していました。9月26日に手術した血管の動きを確認するための検査を受け、元気に活動する血管を自分の目で確認して、10月1日に退院しました。

以降は自宅療養を行い、11月13日に社会復帰しました。休んでいる間はたくさんの人のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。残り少ない幹事職を、一生懸命、務めてまいります。

徒然に

会員 中村 實博

何気なく「紙仏」という文字が飛び込んできて刺さった。刺さった針を抜くために「紙仏（観音菩薩）」を作ってみました。少し感動を覚えたので、2作目に由来を学びながら『宝誌和尚立像』を作りました。

今は「十一面観音菩薩立像」に取り掛かっています。ゆっくりと気の向いた時に少しずつ切って・折って・開いて。心に引っかかる事を、忙しさの中に封印して来たようです。こんな事をしてみたかったのかと、再発見の時が来たのかもしれない。

昨年秋に、京都国立博物館の設立120周年記念「国宝」展に、紅葉狩りを兼ねて行ってきました。国宝210点という膨大な展覧会に膨大な人、人。興味のある縄文の国宝「仮面の女神」「縄文のビーナス」「縄文の女神」「火炎土器」のみ見学し早々に退散。

その夜は紅葉バスに乗り「随心院」（真言宗小野派）などゆっくり鑑賞することができ、屋間の喧騒を帳消しに出来ました。

今月は、東京国立博物館「仁和寺と御室

派のみほとけ」展を見学してきました。国宝24点重文75点を中心に、66体の仏像群を擁する圧巻の展示。京博「国宝」展の人混みを覚悟していましたので、書画部門をパスし仏像のみを見学。それでもクラクラするほど見過ぎました。

真言宗は事相教相の違いにより各宗派があり、仁和寺は御室派の本山です。御室桜でも有名であり、また地名から体温計の『オムロン』の社名にもなっています。

真言宗にはたくさんの如来・菩薩・明王がありますが、本尊は大日如来・薬師如来・阿弥陀如来など各寺院によって違いがあるようですが、浄土真宗は阿弥陀如来一つです。それも6字『名号』でよいのですから同じ仏教と言え大きな違いを感じます。

人には多くの悩みがあるので、それを助けるため多くの仏像を必要とするのが真言宗。阿弥陀仏の本願による他力で救われるのが浄土宗。その中で、真の浄土宗である浄土真宗。『紙仏』を切り抜くのも、難儀なことです。



観音菩薩立像



宝誌和尚立像